

「第1回網走市導水管漏水事故調査検討委員会」報告

本委員会の審議結果について、以下のとおり報告する。

1. 委員会の目的

水道施設の根幹である導水管の維持管理の強化を図る観点から、平成25年2月10日に発生した導水管漏水事故の原因を解明し、今後の導水管の維持管理及び更新計画のあり方について提言を求めるため。

2. 委員構成

委員長

南 二三吉 大阪大学教授（工学博士）
大学院工学研究科マテリアル生産科学専攻

副委員長

小笠原 紘 一 厚生労働省厚生科学審議会生活環境水道部会委員

委員

石 井 美 樹 日本水道協会工務部規格課長
中 村 和 正 独立行政法人土木研究所 寒地土木研究所 上席研究員
(寒地農業基盤研究グループ 水利基盤チーム)

3. 第1回委員会日程

・出席者

全委員、事務局（水道部長、施設課長、施設課工務係長及び営業課庶務係長）
オブザーバー（北海道、網走管工事業協同組合、JFEエンジニアリング(株)、(株)日水コン）

・開催日時

平成25年4月9日（火）＜網走市役所西庁舎 2階会議室＞

・委員会スケジュール

午前8時30分～午前10時

漏水事故現場視察

（現在の状況確認、漏水発生時の状況及び修繕状況を写真にて確認）

現場状況説明に対する質疑・応答

午前10時30分～午後0時30分

漏水事故経過説明等

（内容：網走市水道事業概要、漏水事故経過報告（時系列）、漏水事故状況取り纏め、
昭和42年当時の導水管布設状況）

以上説明に対する質疑・応答、事故原因に関する意見交換、今後の事故原因調査方法及びスケジュールについて協議・決定



漏水現場視察



第1回委員会 市役所西庁舎 2階会議室

4. 委員会審議経過（議事録より）

事務局から今回の漏水事故についての経過等の説明を受け、各委員から質疑が行われた。

（1） 質疑内容

- ① 網走の凍結深度及び積雪状況について
- ② 導水管内の水温について
- ③ 盛土区間の導水管布設状況について
- ④ 破断箇所の腐食状況について
- ⑤ 昭和42年当時の導水管施工記録について
- ⑥ 地震発生後の状況変化の有無及び地震の揺れの状況について
- ⑦ 3年前の漏水事故の調査結果について

（2） 各委員からの意見

- ① 盛土内の導水管に作用した長期的な盛土上部の上載荷重の影響について
- ② 破断した溶接箇所の破面調査の必要性について
- ③ 現在の導水管の変形状態の把握の必要性について
- ④ 過去の地震履歴の把握の必要性について

5. 第1回委員会での決定事項

(1) 今後の調査方法の決定

- ①今回漏水した水道用鋼管の溶接部を切り取り破断面の確認を行い、その後の詳細調査方法を決定する。
- ②耕作道の盛土が上載荷重として鋼管にどのように作用していたかを推察するため、盛土部の現場密度試験、締め固め試験等の土質試験を実施しデータを把握する。
- ③破断部の切り出し時に導水管の水平変位及び側方変位を観測し、現在の変形状態を把握する。
- ④導水管布設以降の地震履歴のデータを整理する。

(2) 今後のスケジュール

- ①6月末期限・・・試験体を採取して試験機関(JFEエンジニアリング(株))に送付する。
- ②7月10日・・・委員長立会いの下、試験体を二つ割にして破断面の状況を確認後、詳細調査方法について試験機関に指示を行う。
(委員長のほか都合のつく委員も立会いを行う。)
- ③7月23、24日
・・・第2回漏水事故調査検討委員会を開催。
(破断面写真及びサンプル提出)

※ 盛土部の試験結果及び地震履歴データについては6月上旬、水平・側方変位の観測データは7月上旬に事前資料として事務局より各委員へ送付予定。